



おにぎり大使派遣事業

研修報告書 2014

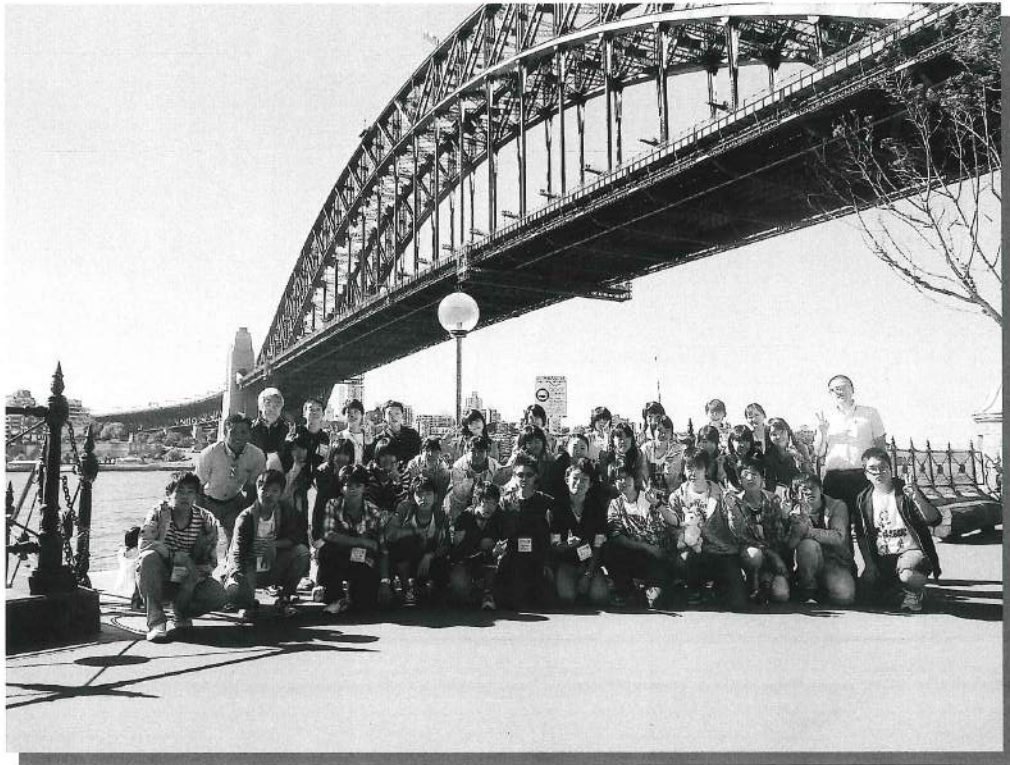


In Australia

今の自分から一歩前へ

～おにぎり大使よ 大志を抱け～

石巻地区広域行政事務組合



目 次

発刊にあたって	・ ・ ・ ・ ・ P 1
研修日程	・ ・ ・ ・ ・ P 2 ~ P 3
団員・引率者感想文	・ ・ ・ ・ P 4 ~ P 45
現地研修風景	・ ・ ・ ・ ・ P 46 ~ P 47
研修報告	・ ・ ・ ・ ・ P 48
団員・引率者名簿	・ ・ ・ ・ P 49

発刊にあたって

石巻地区広域行政事務組合

理事長 石巻市長 亀山

紘



当組合では、石巻圏域の将来を担う青少年の人材育成を目的に、平成三年度から「石巻地域ふるさと市町村圏基金」の利子を活用して「青少年海外派遣事業」を実施してまいりました。平成九年度からは、この事業の名称を現在の「おにぎり大使派遣事業」と改め、これまでに六百三十四人の中学生がこの事業に参加して、現在各方面ですばらしい活躍をしております。

この事業の目的は、学校訪問やホームステイを通して外国の生活・文化に直接に触れることや、現地に石巻圏域の主要産品である「米」と「海苔」を持参して「おにぎり」を作り、日本の食文化の一つとして紹介することであり、「おにぎり大使」の名称はここから生まれたものです。

本年度の派遣団は、石巻圏域内の中学校二十四校から三十二人の団員及び団長を含む引率者六人の三十八人編成とし、研修日程は、七月二十九日から八月四日までの六泊七日で、研修地をオーストラリアのシドニーとしました。

オーストラリアは南半球にあり、二百以上の異なる民族が混在している多民族国家です。団員たちがシドニーを訪れたとき季節は冬でしたが、日中は二十度前後まで気温が上がり過ごしやすい気候であることや、日本との時差がわずか一時間であること、そして比較的治安が良いということから、研修地として最適だったと思います。

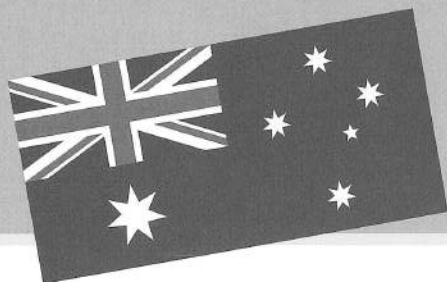
団員のみなさんはシドニーで大変貴重な経験をされ、「おにぎり大使派遣事業」の所期の目的を立派に達成したと思います。この研修の成果を今後の人生に活かし、石巻圏域の将来を担う人材に育ってくださるものと期待しております。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、御支援、御協力を賜りました教育機関、いしのまき農協及び宮城県漁連石巻総合支所などの関係機関、また、御指導をいただきました引率の先生方並びに保護者の方々に対し厚く御礼を申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成26年度おにぎり大使派遣団



おにぎり大使 派遣事業



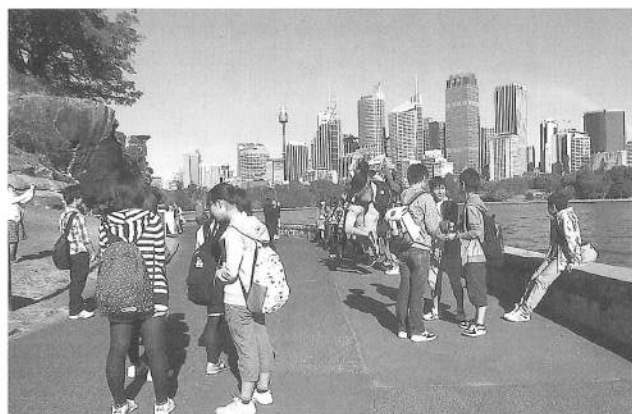
研修日程



▲出発式 後藤雅陽さんの団員あいさつ



▲出発前 成田空港にて



▲シドニー市内見学風景

日程	時間	研修日程
7月29日 (火)	8:30	出発式 (石巻地区広域行政事務組合)
	16:30	成田空港到着
	20:30	成田空港出発 カンタス航空でシドニーへ!
7月30日 (水)	7:05	シドニー空港到着
	9:00	シドニー市内見学 ミセスマッコリーポイント、 オーストラリア博物館など
	17:00	ホテル滞在
7月31日 (木)	9:30	学校訪問 DULWICH HIGH SCHOOL 文化交流・スポーツ交流など
	15:40	ホストファミリーと対面
	16:00	ホームステイ開始 32名の団員が15の家庭にホームステイしました。
8月1日 (金)	8:30	ホームステイ先から一度集合し、シドニー市内見学 シー・ライフ水族館、ワイルド・ライフ動物園など
	17:00	ホームステイ再開
8月2日 (土)	終日	ホームステイ
8月3日 (日)	終日	ホームステイ
	夕刻	さよならパーティー ホストファミリーとの別れ
	19:30	シドニー空港到着
	21:30	シドニー空港出発
8月4日 (月)	6:15	成田空港到着
	15:30	石巻到着(帰着式) (石巻地区広域行政事務組合)



▲ホストファミリーと対面



▲学校訪問（南中ソーランを披露）



▲ホームステイ（ホストマザーと）



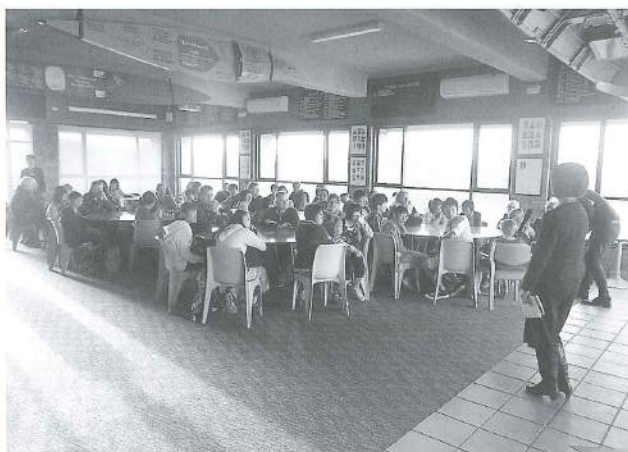
▲学校訪問文化交流（竹とんぼ）



▲ホームステイ



▲学校訪問文化交流（南中ソーラン伝授）



▲さよならパーティー



▲学校訪問（美術の授業を体験）

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻地区広域行政事務組合
事務局長

沼倉隆樹

今年の「おにぎり大使派遣事業」は、七月二十九日から八月四日までの日程で、オーストラリアのシドニーを研修場所に実施した。参加したのは、団員として各中学校からの代表三十二名と引率者の六名である。東日本大震災で被災した団員も数多く参加しており、震災から受けた傷跡は深かったものの、少しずつ心の安らぎが戻りつつあると感じた。感性が豊かな時期にある団員の六十四の瞳が、何を見つめ、何を感じ、その上で何を思ったのか、全てをうかがい知ることにはできないが、経験したことのない文化や生活習慣に触れ、現地の人々と会話することにより、広く物事を捉えることができ、一回りも二回りも人格を成長させる事業であると、今回同行して強く確信した。

派遣研修に備えた事前研修では、結団式の後、おにぎり大使の団員となった生徒たちが、4班に分かれて、各係と役割分担、研修テーマ、研修中の約

束事項等を段取り良く決めていった。今年の研修テーマは、「今の自分から一歩前へ」おにぎり大使よ大志を抱け」に決定する。研修テーマのとおり一歩前に進むという積極性が随所に見られ、研修における実行委員などの役割にも進んで名乗り出て、自らの力で進めようという意欲と自主性がうかがえた。特に、学校訪問の全体アトラクションでは、団員それぞれが意見を出し合い、独自の踊り構成や配置を考えたことに驚いた。

心待ちにしていた出発の日を迎え、少し緊張した面持ちの団員達は、保護者、各教育長、各学校長の方々からの見送りを受けて、石巻を旅立ち研修地のシドニーに向かった。

シドニー空港では、緊張のまま入国審査を受けて、到着ロビーに集合した。やや緊張から解き放たれた団員達は、笑顔を見せながら、オーストラリアの大地を踏みしめる。外は、木々の緑と暖かさは真冬とは思えない気候だった。シドニーでの通訳とツアーガイドは、現地在住の美香子さんである。豊富な知識と堪能な英語力で、現地での注意事項、施設内での行動時間等を事細かに説明してくれ、旅行者の方と共に我々の研修をサポートしてくれた。

市内見学は、初めにミセスマッコリースポイントに向い、岬からシドニー湾が一望できる景観に団員ともども感動する。また、斬新なデザインのオペラハウス、ステンドグラスが美しいセ

ントメアリー大聖堂など文化や歴史を感じさせる壮麗な施設を巡り、深く感銘を受けた。

学校訪問では、ダルヴィツチハイスクールの校長先生やほかの先生方が親しく迎えてくれた。団員は、同校の生徒と一人ずつ組み合わせになり、バディとして行動を共にする。美術や体育の授業に参加するなかで、少しずつ親密さが増していくのを感じた。また、団員からのアトラクションとして、南中ソーランを披露し、次いでバディにハッピを渡して一緒に踊ることになり、一体となり楽しそうに踊る姿に集まった同校の生徒からも歓声が上がっていた。

団員達は、後ろ髪を引かれる思いで学校を後にし、ホストファミリーとの待ち合わせ場所に向い、一組ずつホストファミリーと対面し、心持ち緊張した様子でそれぞれのホームステイ先へと赴いた。

一夜明け、一時帰宅の際に満面の笑顔で戻った団員は、表情に余裕が感じられ一段と輝きを増していた。バスの中では、仲間と互いの話題で談笑し、いつまでも話が尽きないようだった。

ホストファミリーとのさよならパーティーでは、それぞれのホストと語らい食事を楽しむ。食事の後に、団員が美しい夕焼けを背にして南中ソーランを披露し、ホストファミリーから大きな喝采を受ける。別際には、名残惜しさを残しつつも、笑顔でホストファミ

リーを見送った。

海外研修での学校訪問やホームステイは、初めて訪問する地域で見知らぬ人と英語で会話する不安をどの団員も抱えていたようだが、自分なりに考えながら相手とコミュニケーションを取ろうとする姿と柔軟な対応力に感服した。

事後研修では、研修の成果をまとめる壁新聞を作成したが、胸いっぱい詰められた思いをまとめきれずに苦労しているようだった。その締めくくりには、団長と担当二人に団員全員からの感謝のメッセージ手渡され、思いもかけないプレゼントに思わず目頭が熱くなった。

研修を終えた生徒たちは、確実に「昨日の自分より一歩前に」進んでいると感じた。「大志を抱き」必ずや次代の石巻広域圏を担う人材に成長することを期待している。

なお、今回の研修を成功裏に導いてくれた引率の先生方に改めて感謝したい。常に先頭に立ち、目標や目的を示してくれた浅野先生。実地に即した研修内容を分かりやすく工夫してくれた高橋先生。団員の自主性に任せながらも必要な場面では適切に指導してくれた武田先生。丁寧な説明でいつも団員に寄り添い、心をとらえて離さない坂本先生。生徒からも先生たちを敬慕する気持ちがひしひしと伝わってきた。

終わりに、事業に当たりご支援とご協力をいただいた教育関係の方々と保護者の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立蛇田中学校
浅野 芳博

平成二十六年度的おにぎり大使派遣事業を終え、三十八名全員が無事帰国することができました。

研修が始まった六月当初は、お互いに会話も少なく緊張した表情でしたが、研修を重ねるにつれて笑顔や会話が多くなり、協力しながら現地での研修や文化交流の準備などを行ってきました。それぞれの団員が自分のもち味を存分に発揮し、さらに互いに学び合いながら準備を行ってきたことが力となり、自信をもってオーストラリアでの研修を行うことができたのではないのでしょうか。

オーストラリアに到着後と四日目にいったシドニー市内観光では、トップブツアアの我妻さんや門間さん、現地通訳でお世話になったミカコさんの計らいで、ミセスマッコリーズポイントやセントメアリー大聖堂、博物館、ハーバーブリッジ、オペラハウス、シドニー水族館、動物園、シドニータワーなどたくさんの方々に連れて行って頂き

ました。その素晴らしさに圧倒され、オーストラリアの歴史や文化、伝統に肌で触れることができました。

ダルウィッチハイスクールでは、日本の中学校や高等学校との違いに戸惑いながらも、興味をもって研修できたと思います。緊張気味の団員たちに、ハイスクールの生徒たちは、明るい笑顔であいさつをしたり、話しかけたりしてくれ、緊張もほぐれたことでしょう。初めは、バディーと自分からは話しかけられない様子でしたが、徐々に打ち解け、話せるようになっていたのには驚きました。ハイスクールの生徒たちは、授業時間と休み時間の区別をしつかりつけているようで、授業時間は勉強に集中し、休み時間には友達と楽しむ姿が見られました。団員たちにも大いに参考になったと思います。準備していった各班の文化交流も順調に進み、どの場所にもたくさんの方々の笑顔がありました。何と言っても、全員で発表した「南中ソーラン」は好評でした。少ない練習時間でしたが、本番では堂々と発表できました。アンコールでは、ハイスクールの生徒たち全員と一緒に踊ってくれ、交流会の成功を感じることができました。

ホームステイは、団員たちにとつて生涯忘れられないものになったことと思います。期待と緊張、不安が始まったホームステイだったと思いますが、日が経つにつれて家族の方とも打ち解け、家族の一員として楽しく過ごせたようです。「もう少し良かった。」と

の声も多く聞かれました。おそらく、数日間でホストファミリーの温かさ、優しさに支えられ、次第に目に見えない人と人とのつながりを感じたからだと思います。

たった数日の生活で、現地の「家族」として受け入れられたことが生徒にとつては大変大きなお土産となりました。笑顔で感謝の気持ちを表す生徒、いつまでも別れを惜しむ生徒、それぞれがそれぞれに思いをもってホストファミリーとお別れをしました。

ホームステイの経験を通してはつきりと言えることがあります。それは生徒が大きく成長したことです。「成長する」とは人に頼らず自分の力で前向きに生きることを意味します。誰にも頼らず、言葉も通じないホストファミリーとの生活は、まさに「成長する」ということを考えた大きな機会であったと思います。

中学生という年代に、言葉も生活習慣も全く異なる環境での体験はかけがえのないものです。語学の重要性を痛感し、しつかり外国語を学びたいという意欲に結びついた生徒もいました。また、実際に見聞きし体験したことで、新たな世界に挑んでみたいと感じた生徒もいたことは大変嬉しいことです。

オーストラリアでの研修を通して、たくさんの方々のオーストラリアの良いところ、文化の違いなどを知り、体験できたことは忘れられないと思います。また、日本や石巻の良さを改めて感じることもできまし

た。水の豊富さ、バラエティ豊かな食生活、調理方法の充実など普段気が付かなかったことも、現地へ行って初めて分かったことです。この研修で得た貴重な体験、感動を今後の生活に生かしてほしいと思います。

最後になりましたが、この研修をお世話くださいました関係者の方々に深く感謝申し上げます。また、私自身も多くのことを学ばせていただきました。この貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。



▲事後研修会（壁新聞完成記念撮影）

おにぎり大使を経験して

石巻中学校 後藤 雅陽



私はこの夏、おにぎり大使としてオーストラリアのシドニーに一週間滞在してきました。

オーストラリアでのたくさんさんの経験から、私は二つのことを学びました。

一つは、コミュニケーションの取り方です。私が海外の人と会話をした時、発音の違いがあり、通じなかったことがよくありました。なのでジェスチャーなどを使って会話してみると、大概の事は通じました。

このように、海外の人と会話をする時は、人と会話をしようという心構えが大切だと学びました。

二つ目は、日本の文化のすばらしさです。日本でよく行うお辞儀や礼は、他の国には無い魅力的な文化だと今回の体験で知り、日本の文化をもっと知ってもらおうと思いました。

私は今回の体験で学んだ二つのことを胸に、将来の自分に向けて頑張ろうと思います。

豪体験

火火
ニニコ

中巻 後藤 雅陽

シドニー

観光

私たちはシドニーに滞在中、動物園や水族館などの市内観光もしました。動物園では、残念ながらカンガルーを見ることは出来ませんでした。が、コアラとワラビーをみる事が出来ました。オーストラリア以外の地域に



学校訪問

今回の派遣事業では、現地の学校に訪問し、同年代の人とふれあう機会がありました。左の写真は私のバディのフランクが静かな人でした。



ホームステイ

おにぎり大使のメインでもあるおにぎり作りをホストファミリーの家でしてみました。事前研修で何度も練習していましたが、思ったより時間がかかりました。下の写真はホストファミリーと昼食を食べている時の写真です。皆おいしそうに食べていました。右の写真はホストファミリーと海に行った時の写真です。



オーストラリアの夏は涼しく、たくさんの方がサーフィンしていました。海の近くにはショッピング街があったので、たくさん面白い物を買うことが出来ました。友達に良いお土産を買って良かったです。

おにぎり大使派遣事業を

終えて

青葉中学校 佐藤 雅也



おにぎり大使として過ごしたオーストラリアでの五日間は、とても充実したものであり、私にとつて

初体験の連続でした。外国に行くことはもちろん、飛行機に乗ることすら私にとつては初めての体験でした。

特に印象に残っていることは、沢山のひとと触れ合う事が出来たことです。沢山のひとと触れ合うことで、表現することの大切さ、どれだけコミュニケーションが難しいもので、重要であるかということ学びました。この経験を踏まえて、私は、自分の考えを積極的に伝え、これからの生活をより良いものにして行こうと思えました。

最後に、私がこのような経験ができたのは、石巻広域行政事務組合の方々や引率の先生方、父母、おにぎり大使に推薦していただいた青葉中学校の先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

おにぎり大使 佐藤 雅也

ホームステイ

私は、四人家族のワトソンさんの家でホームステイをしました。バリー（父）は、ツールメーカーで、火力発電装置を見せられました。アリソン（母）は、ジムトレーナーで、ホームステイでは、とてもフレンドリーに接してくれました。アレン（兄）とは、話す機会がありました。誕生日も同じで、同じくサッカーが好きでした。ホームステイ二日目に海、三日目にショッピングモールに連れてってくれました。

市内観光

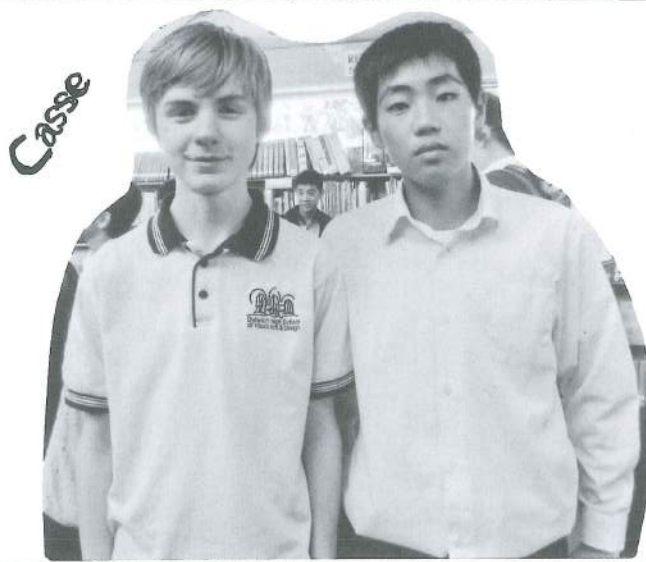
市内観光では、目の前のオーストラリアが新鮮で、特にオハラハウスが印象に残っています。夜にライトアップされるオハラハウスはすごくきれいだと思いました。オハラハウスはすごくきれいだと思いました。オハラハウスはすごくきれいだと思いました。

文化交流

文化交流では、一緒にソーランを踊った。風船バレーをしました。すごく楽しかったです。オーストラリアの学校では、モーニングティーという時間があり、お菓子と飲み物を貰い、食べる時間があります。

学校訪問

私のバディはケシーと言います。前でも一緒に踊った後に、「とてもかっこよくて、感動しました」と言っていました。学校を案内してくれている時には、ソーランを口ずさみながら案内してくれました。



感想

私にとつて、オーストラリアで過ごした五日間は、とても素晴らしい一日間でした。思い出がいっぱいになりました。ありがとうございました。

おにぎり大使派遣事業に
参加して

河南東中学校 村上 未夢



今回の派遣事業は私を大きく成長させてくれました。たくさんさんのトラブルや喜び、楽しさを味わう

ことのできた事業となりました。

私が一番印象に残っていることはホームステイです。ホームステイは今まで多少は日本語でも生活できた中で今度は全て英語でコミュニケーションをとらなければならぬという事実は自分自身、すごく不安になるものでした。ですが実際、ホストファミリーが温かく迎え入れてくれ、いつも優しく接してくれたおかげで不安はなくなり、自分の精いっぱい英語を駆使して楽しく過ごすことが出来ました。そして私の英語が通じた時のあのうれしさは今でも忘れられません。

私はこのおにぎり大使で自分の英語力の向上を達成すると共に、大切な仲間ととう一つの家族と故郷ができました。今回の貴重な体験を本当にありがとうございました。

おにぎりあんばさだー
Australia

- ★ごとうまはほ子
- ☆くまぐらかおき
- なかがぬまたく
- ごとうまはほ
- どいごまか
- なげかまきおか
- むかみみゆ
- まほうのあけか



○ホストファミリー○
お母さん ^{ノット} ^{ハイライズ} ^{とごもかおしい} ^{にめんごい} ^{Home Stay}
Jamy (ジェイミー)
とごも美人で若くて優しいお母さん!
うなうごが大好き!
お姉さん Chely (チェリー)
おもしろくて、優しくいいお姉さん!
1111ちゃんとながほ!
いもうと Lily (リリー)
かおしくて、とごもいい子!
Fvkeが大好き! 笑



ほおはすこい
01日目
ホストファミリーの友達のおうちに遊びにいって!
1111ちゃんかごもかおしいからとトランポリンが外にある2リリーちゃんと遊んだ!!
02日目
夜はお母さんがいながらの2リリーちゃん
チェリーちゃんとお話をした!
03日目
お母さんが大きいショウコンがモーターも2つ
くもた!! 2班女子と1班の女子にどうぞ!!
夜にはお母さんが歌をひまがたりでうたう!!
04日目
昨日とはちがうショウコンがモーターとカマエ!
ラストの日で、お別れはさみしかった! 泣

感想
3日間のほおはすこいはとごもたのしくおこせ
ました。市内観光では日本とはまた違う景観
で、とごも楽しいでした。自分の目標とした
英語力の向上も最高の旅を過ごすも達成
したと思います。こんな素晴らしい機会を
本当にありがとうございます!



おにぎり大使派遣事業に

参加して

住吉中学校 熊倉 和希



僕はこのおにぎり大使に参加し、実際に外国の文化や人とふれ合うことで、普段日本で生活をしていて気づけない多くのことを学んできました。

ホームステイや学校訪問など、オーストラリアの人々と直接会話するとき、初めは気持ちをうまく伝えられるか不安でしたが、どの人も僕が会話しやすいような簡単な英語で話してくださり、とても嬉しかったです。伝えようとする気持ちが大事なのだと痛感しました。

おにぎり大使全体を通して、人と人との繋がりが、何より自分のためになるのだと分かりました。仲間や先生方がいるから、安全で楽しい思い出をつくることができ、家族や校長先生方のおかげで、このような貴重な体験をすることができました。僕を支えてくださった全ての人に感謝しています。本当にありがとうございます。僕は、この思い出を絶対に忘れません。

俺の豪の思い出新聞

住吉中学校 熊倉 和希

人生初のHOMESTAY

長男: ブラッド (10才)



父



三女: コリー (10才)



母



ホームステイ先でお話を聞いたり、英語に話しかけたりして、僕にとっては初めての経験になりました。ホームステイ初日は、長男のブラッドと三女のコーリーと仲良く話しかけたりして、とても楽しかったです。ホストファミリーの皆さんも、僕が英語を聞き取れないと、優しく話しかけてくれました。この思い出が一生大切に残ります。

学校訪問

シドニーに到着してからは、僕達はガルウィングハイスクールの訪問文化体験をしました。僕もバレーボールの試合をしました。とても楽しかったです。また、おにぎり作り体験もしました。おにぎり作りは、とても楽しかったです。おにぎり作り体験は、とても楽しかったです。おにぎり作り体験は、とても楽しかったです。

シドニー観光

僕達はシドニーの様々な所を観光しました。シドニーの初日は、訪ねたオペラハウスのオペラを観ました。オペラを観たのは、とても楽しかったです。また、シドニー動物園にも行きました。動物園には、色々な動物がいました。動物園に行くのは、とても楽しかったです。



おにぎり大使派遣事業に

参加して

矢本第一中学校 土井さやか



私は今回この派遣事業を通して、多くのことを学びました。私の目標は、より多くの英語にふれ、自分の英語力を高めるというものでした。学校訪問の時にはあまり積極的に話すことができなかった分、ホームステイでは積極的に会話をするようにしました。

その時に考えたことがあります。それは、自分の意見はストレートに、はっきり言うということ。あたりまえのように聞こえますが、日本では多少曖昧にしても気持ちには伝わりません。しかし、英語でコミュニケーションをする上では「はい」か「いいえ」をきちんと伝えることが大切だと思いました。海外の英語に触れたことで、これから自分が英語を勉強する上でとても良い経験になりました。

私はこれからこの素晴らしい経験を今後に生かしていきたいです。そのためにも、これから英語や海外の勉強を頑張つて、もう一度オーストラリアに行きたいと思えます。

In Australia

Home Stay

私の三日間のホームステイはとても充実していました。家族の皆さんが、本当に優しく、英語で話すのが楽しいなと思えました。思いがけないアクシデントもありましたが、すべて良い思い出です。

一日目

不安な気持ちでホストファミリーの迎えを待っていたら、忙しくて迎えに行けないとのこと。でも、送ってもらえたので安心。なんと！そのままおにぎりも作ってしまいました。

二日目

主ににおにぎり大使の活動でした。

DULWICH HIGH SCHOOL

三日目 フットボールの試合を見た後、大きなショッピングモールに連れていかれてもらいました。楽しい一日でした。

四日目

ショッピングモール②というところで再び面白い物をして、その後ビーチに行きました。そのままお別れパーティーに行きました。お別れの後、本当に泣きそうになりました。

ONIGIRI

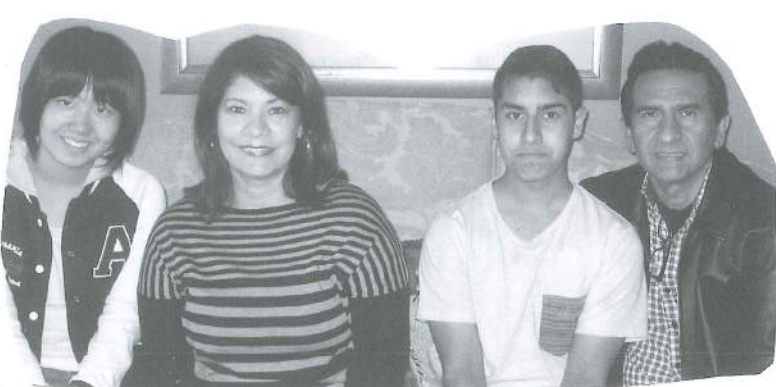
一日目におにぎりを作りました。具材はふりかけとツナマヨでした。ホストファミリーの皆さんは日本の食べ物が好きなので、とても好評でした。

私のバディは女の子で、Tallulahという名前の子でした。同じ歳だったのですが、とても大人な女の子でした。英語もよく話してくれました。自分でモキちゃんと呼ばれていました。文化交流ではあやとりを紹介しました。芸術学校からなにか、器用な人が多かったです。その他、授業を体験したり、バスケットをしました。バスケットではなんのシミュレーションも決めることができませんでした！

オーストラリアの学校と日本の学校ではかなり仕組みが違います。この学校を見たら、自分の世界が広がったと思います。とても楽しい学校訪問でした。

Sight seeing ...

私たちが観光したのはオペライウス、セントメアリーズ大聖堂、オーストラリア博物館、水族館、動物園、シドニータワー... などです。オペライウスや大聖堂はとても大きくて、日本には無い形の建物など思いました。とても良い思い出です。



一挙両得 ~心を合わせ前へ~



今回のおにぎり大使派遣事業のメイン、それはホームステイです。私たちはオーストラリアに滞在した五日間の内、実に四日間もホストファミリーの家でホームステイをさせていただきました。

四日間のホームステイを体験して、私たちは外国の方とのコミュニケーションを上手くこなせるようになりました。

→ホストファミリーとの食事の様子です。バイキングでした。

シドニー市内は日本では見られない、実際に触れることでできるところが多い景色や建物を自分の目で見たり、もありました。動物園ではコアラやカ触れたりすることやできて楽しかった。シンガポールなど、日本の動物園では見られない動物に印象に残りました。

SEA LIFE WILD LIFE in Sydney

二枚の経験によって、自分の視野が広がりました。(京野彩香)

ホームステイを体験して、私は、どれだけコミュニケーションが難しいもので、重要であるのかということを感じました。この経験を踏まえて、私は、自分の考えを積極的に伝え、これからの生活をより良いものにして行こうと思います。

←ホストファミリーとのパーティーの様子です。

ワトソン家 → ジミズ家

その後、いくつかのゲームに分かれて文化交流を行いました。普通や浴衣の着付けを行い、日本の文化をたくさん伝えることができました。カルガイッチハイスクール皆さんと交流できて、本当に良かったです。

(武山叶加)

学校訪問

DULWICH HIGH SCHOOL

シドニー三日目、私たちはカルガイッチハイスクールに訪問しました。バディと一緒に美術の勉強をしたり、バスケットボールやサッカーをしました。全体での文化交流で、日本の伝統舞踊である南中ソーランを披露しました。南中ソーランはとて好評でした。バディにもハッピーを着てもらい、一緒に踊りました。

編集後記

文法や文化の違いから伝わらないこともありますが、このことに気付くことができた研修はとても素晴らしい経験です。

私はこの経験をより、多くの人に伝え、今後には生かしていきたいです。

(土井やちか)

日本旅行記

私は今、初めの旅に、自分の口におかない人、もいて、それ以外の食事、味や匂い、(村上未夢)

私は今、初めの旅に、自分の口におかない人、もいて、それ以外の食事、味や匂い、(村上未夢)

H 26. 8. 17

★ 1 班 ★

後藤	藤村	武	浅	野
佐	上	山	野	野
村	山	野	野	野
武	山	野	野	野
浅	野	野	野	野

知本 塚 華 先生

私は今、初めの旅に、自分の口におかない人、もいて、それ以外の食事、味や匂い、(村上未夢)

私は今、初めの旅に、自分の口におかない人、もいて、それ以外の食事、味や匂い、(村上未夢)

「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立飯野川中学校
武田 あゆみ

本研修を振り返り、石巻地区の将来を担う中学生にとっても、そうした子供たちに関わっていく教員という立場の私自身にとっても、大変貴重な機会をいただいたと思います。

事後研修会を残すのみとなり、この大切な経験を共有してきた生徒、先生方、事務局や添乗員の方々とお会いできるとも最後かと思うと寂しい気持ちになります。思えば旅の道中もこうした出会いと別れの繰り返しで、その度に国や文化の違いを越えて人の温かさを実感した七日間でした。

その中でもホームステイは、生徒にとって最も貴重な経験となったと思います。渡航前、言葉の違う家族の生活に飛び込むことが、中学生にとってどれほど不安かと心配でした。しかし、

ステイを終えた生徒達の表情は充実感に満ち溢れており、ホストファミリーとの別れを惜しんでいる様子を見て、中学生という成長段階だからこそこうした経験が必要なのだと思います。

さよならパーティーで、私の心に残っている場面があります。ホストファミリーの小さな子供が一生懸命に話しかけるのを、生徒がその子の身長に合わせて屈んで耳を傾け、笑顔で返事をしていたのです。そこにホストマザーも加わり、「日本まで、安全で良い旅を」と言われると、「セーフ？あー、ゼンキュー！」と親指を立てるジェスチャーを交えて応えていました。

事前研修の際には、多くの生徒が自己紹介でさえ英語のプリントを読み上げていました。分かっているけれど恥ずかしい、自信がないという様子でした。そんな生徒達が、実際の場面で何とかコミュニケーションを取ろうとしている姿を見て、英語科教員としてこれ程嬉しいことはありませんでした。

また別の生徒は、おにぎり作りをして、ホストファミリーが喜んでくれたので嬉しかったと話していました。日本文化を紹介して笑顔が返ってきた時

に嬉しく思うのは、自分の国の文化を受容されることへの喜びなのだと思います。また、私自身、現地滞在中に日本語で「アリガトク」と言われると嬉しくなりました。これも普段は意識し

ない「日本人である自分」を受け入れられたと感じるからだと思います。学校訪問の際、多文化が共存するオーストラリアでは、違っていても当たり前、それをありのまま受け入れるのだと先生から伺いました。グローバル化が進む社会で、日本でもそれが求められていると思います。

そして同時に、相手をもっとよく理解しようとしたり自分の気持ちを伝えようとしたりする姿勢、自分と違う相手を受容してお互いを尊重する姿勢が大切だということは、海外や外国語に関わる場面だと顕著になるだけであって、日本人同士のコミュニケーションにも通じると思います。

生徒達がこの研修を通して築いた人とのつながりを大切にし、将来にわたりそれぞれの形で本研修から得たことを発揮していくことを期待します。最後に、このような貴重な学びの機会をいただきました石巻広域行政事務組合

及び関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲事後研修会（壁新聞完成記念撮影）

おにぎり大使派遣事業に

参加して

鳴瀬未来中学校 小山 杏



私は、今回のおにぎり大使派遣事業において、「コミュニケーションをとり、英語力をたかめ、た

くさんのことを学ぶ」という目標を立てました。

学校訪問やホームステイでは、ほぼ全て英語で話しました。初めはどちらも緊張してしまいましたが徐々に緊張がほぐれていき、たくさん会話をすることができるようになったので、よかったです。

この事業を通して、英語力を高めることができたと思います。また、学校訪問やホームステイを通して、オーストラリアの歴史や文化を学ぶことができました。私にとって初めてのことがばかりで、出発前は不安と緊張ばかりでしたが、たくさんの方々のおかげで有意義なものにすることができました。本当にありがとうございました。

オーストラリア新聞

鳴瀬未来 小山 杏

HOME STAY in Australia

オーストラリアに着いて市内観光をしたり、工場やエコーに行き、文化交流をしたりしました。次にホストファミリーと対面しました。私がお世話になったホストファミリーの家族は、お父さんのマリーク、お母さんのメラニー、長女のヤズミナ、長男のジヤミヤ、次男のガッキーの五人家族で、皆明るくおもしろくて、とても楽しい時間を過ごすことができました。一日目の夕食は、お父さんが作ったラザニアを食べました。とてもおいしかったです。二日目はおにぎり大使の皆さんとシドニー市内見学をしました。動物園で初めて本物のユアラを見ることができて嬉しかったです。その後、ホームステイ先に帰りました。夜に近所の家に遊びに行くとバーベキューやその家の子どもと遊んだりしました。英語で会話をすること



とができ、とても楽しかったです。三日目はホームステイ先の子供達のスイミングスクールに行き、見学しました。日本の教え方とは違っていました。帰ってから皆でおにぎりを作りました。たまにはお母さんが作ってくれました。おにぎりを食べるのが大好きです。その後にマン

リービーとシエリービーに行きました。水がすき通っていたので、最終日、朝におにぎりを作り、公園に行き、皆で食べました。その後にお父さんのサッカーを見ました。最後にバービーパークに行きました。その後にはおにぎりをたくさん作りました。とても楽しかったです。とても寂しい気持ちになりましたが、とても楽しかったです。良かったです。

編集後記

私は、今回このホームステイを通して、オーストラリアの文化を知ることができました。また、英語力も高まるので良かったと思います。将来にも役立てたいです。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

山下中学校 佐藤 大斗



初めてのオーストラリアでの七日間。私は本当に素晴らしい経験をさせてもらいました。見る物全てが新鮮で、一日をとっても早く感じる日々でした。

オーストラリアに着いて初めて現地の人と交流したのは、ダルウィッチハイスクールに行った時です。私のバディは気さくな人柄で、自分の不自然な英語にもしつかりと耳を傾けてくれて、バディの優しさを感じました。

ホームステイではホストファミリーと野球をしたり、ビーチに連れて行ってもらったりしました。滞在中はホストファミリーとたくさん話し、一緒に笑ったりもできました。

この経験は私の世界観を大きく変えてくれました。それも家族や先生方、団員や広域行政事務組合の方のサポートがあったからだと思います。本当にありがとうございます。

Home stay in Australia



father --- Todd さん
優しくて面白いお父さん!
mother --- Bronwyn さん
元気で明るい!
野球が好き。
children --- Trey
静かなお兄ちゃん。
ゲーム大好き!
children --- Evan
やんちゃ坊主(笑)
ラグビーがすごく上手い!

ホームステイ新聞
山下中学校 佐藤大斗



<1日目>

私が緊張しながら待っているところに迎えに来てくれたのはホストマザーさんで、第一印象は「活発な雰囲気の人」でした。家について、全員に挨拶をしました。みんな優しくしてほしかったです。

<2日目>

この日はトレイのサッカーとエバンのラグビーの試合を見に行きました。二人ともすごく上手で驚きました。夜はおにぎりを作りました。みんなおいしく食べてくれました。喜んでくれて、すごく嬉しかったです。

<3日目>

朝早く起きて私はビーチに連れて行ってもらいました。砂がすごかったです。午後は近所の人や他の団員と野球をしました。その後はお別れパーティーでした。慣れてきた時は寂しいのですが、別れが近づいてきました。

感想

この七日間のことは一生忘れられないと思います。シドニー市内の観光や学校訪問、ホームステイと全てが初めてでした。けれど、その初めての経験からたくさん学ぶことができました。これが自分の夢に繋がるように頑張っています。

おにぎり大使派遣事業に
参加して

河北中学校 千葉 脩平



期待と不安からスタートしたおにぎり大使。オーストラリアで過ごした五日間は、自分にとって大

きな経験ととても貴重な体験になりました。直接見て、体感することでオーストラリアをより大きく感じる事ができました。

私は英語をしっかりと聞き取れるか、上手く伝えられるか不安でしたが、何度も聞いているうちに耳が慣れて相手の伝えたい事が分かった時はとても感動しました。ホームステイではホストファミリーが明るくてとても優しくすぐに打ち解ける事ができました。ホストファミリーとの食事や買い物から、文化の違いを学ぶ事ができ、またビーチや試合観戦にも連れて行ってもらい、とても楽しく充実した四日間を過ごしました。

最後に、この研修を通してたくさんの方の文化に触れる事ができた経験をこれからの生活に生かしていきたいです。このような機会を与えてくれたみなさん、本当にありがとうございました。

千葉 脩平

IN AUSTRALIA

市内見学

市内見学は、団体での観光をしました。特にシドニータワーでの見学が印象に残っています。シドニータワーは、街を360°見ることができ、シドニーの豊かな自然やビルやショッピングモールなどの高い技術にとっても感動しました。また、これらを見て実物は迫力が全く違うことを知りました。とても充実した市内見学になりました!!

学校訪問

自分のバディーは、ジョーキーという17年上の男の子でした。初めは単語でしか会話をすることができなかったけれど、徐々に慣れてきて楽しく会話をすることができました。他にもたくさんの方とも会話して仲良くなることができました!!



Home Stay

初めてホストファミリーに会った時、自分はとても緊張していましたが優しく自分達を出迎えてくれたので安心しました。おにぎり作りでは、寿司を作ることにしたのですが、うまく作る事ができてとても好評でした。トッドが寿司に大量のおさみを付けても平気で食べていたのでとても驚きました。ホームステイは最高に楽しかったです。




感想

今回、おにぎり大使を通して多くのことを学びました。この経験は、自分の一生の宝物になったと思います。そして、このような機会を与えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

Father : トッド 

Mather : ブラウニー

Son : トレイ

Son : エヴァン 



おにぎり大使派遣事業に

参加して

蛇田中学校 齋藤向日葵



私のおにぎり大使派遣事業での個人目標は、「積極的に行動し、視野を広げる」でした。帰国し

て、数日たつと、その目標が達成できたことを実感しました。

まずは、一つの物事に対して考える幅、もしくは考えられる可能性が増えたことです。さらに、異文化や外国人と触れ合ったおかげか、自分の感情を前よりコントロールできるようにになりました。

また、実りの多い派遣事業にできたのも、自分たちを暖かく迎えてくれたり、英語を聞き取りやすくゆつくり話してくれたりしたホストファミリーなどのおにぎり大使に関わっている方々、全員のおかげだと思っています。

私は前よりも一回りも二回りも大きくなって帰ってくることができました。この経験を生かして、将来、たくさんの人に日本・外国のすばらしさを伝えられるような仕事に就きたいです。

ONIGIRI AMBASSADOR'S MEMORY in Sydney

母 JENNY (ジニー)
父 MICK (ミック)
兄 LINCAN (リンカーン)
妹 LIBERTY (リバティ)

オーストラリア新聞

蛇田中学校 齋藤向日葵

★ Home Stay ★

3日目、ホストファミリーと河面竹とんぼがとても喜ばれたよ!!
4日目、ちょっとずつ会話が...!!
5日目、リバティのサッカーを見たり、買い物に行ったり、夜は映画を見たり...あと、おにぎりをみんなで作ったよ☆
6日目、ビーチに行って「ジョypoking!」だよなうパーティーごは、ソーランを披露した!!

★ Sightseeing ★

とても楽しかったよ

2日目、オペラハウスやセントメアリーズ大聖堂、オーストラリア博物館など...
4日目、シー・ライフ・シドニー水族館、ワイルドライフ・シドニー動物園、シドニータワーなど...

★ DULWICH HIGH SCHOOL ★

3日目に行、た文化交流☆
オーストラリアの授業は、時間の流れがゆっくりに!! また、日本の文化も南中ソーランも喜んでもらえた。たくさんのおみやげももらったよ

たくさん経験ができた、実りのある派遣事業でした!!

★ Impression ★

私は、この派遣事業を通して、最初の目的だった自分の視野を広げるということを達成できたと感じています。また、ホームステイでは言葉が通じなくても文化が違っても心が通じれば、伝えようとする心があれば、国が違っても伝わるんだなと気づくことができました。将来、この経験を生かせるようにがんばりたい



おにぎり大使派遣事業に

参加して

荻浜中学校 末永 礼奈



私は、おにぎり大使としてオーストラリアで過ごした一週間、たくさんの貴重な経験をすることが

できました。

その中でも、ホームステイがとても印象に残っています。約三日間のホームステイは私にとって大切な思い出となりました。

私は人と話すのが苦手です。自分から会話をすることがあまりできませんでした。しかし、ホストファミリーはそんな私に優しく、分かりやすくたくさんの事を教えてくれました。

ホームステイだけでなく、学校訪問やおにぎり大使の皆との活動で私は、人と関わることの大切さや言語だけではない人との繋がりを知ることができました。

最後に、このおにぎり大使派遣事業を通して私は、経験だけでなく、かけがえのない大切なものを手に入れることができました。

本当にありがとうございました。

In Australia

豪新聞

荻浜中
末永
礼奈



Home Stay

- Day 1 : Mickが私達をおかえに来てくれました。家ではホストファミリーのみんなが温かく迎え入れてくれて、お土産も喜んでくれたので嬉しかったです。(★▽★)
- Day 2 : 午前中はLibertyのサッカーと一緒に遊んでいてもらいました。またお昼におにぎりをつくりました。JennyとLincolnもおにぎりをつくらせて、とても上手でした。(w)
- また、午後にショッピングにも行ってたくさん買いました。
- Day 3 : 全員でビーチやショッピングなどに行きました。そこで「チップス」というものをみんなが食べました。また、ビーチや海を見渡せる所にも行き、たくさん写真を撮りました。お別れパーティーでは、最後はとてもさみしかったけど、楽しい思い出になりました。(w)!

- 父 Mick (ミック) → とても明るくて面白い人。
- 母 Jenny (ジェニー) → 優しい、そして美人さん。
- 兄 Lincoln (リンカーン) → のり大好き! な17歳。
- 妹 Liberty (リバティ) → ピザ好き! なサッカー好き。

Thank you!!



学校訪問

私のバディは「Tara」というアニメが大好きな女子でした。千絵ちゃんと一緒に学校を見学しました。

文化交流では、私は音楽・舞蹈の演目で日本の歌を発表しました。最初は、どう対応したらいいか戸惑いましたが、後半ぐんぐん盛り上がることができて良かったです。

Sightseeing

市内見学では、たくさんの観光地を見学しました。特に印象に残っているのは動物園です。コアラやカンガルーなどかわいい動物達をたくさん見れて良かったです。

班の感想

私は2班で事前研修会でもたくさん話しましたが、オーストラリアに行って、もっとお互いのことを知ることができ、絆もぐんと深まったと感じました。2班最高!

感想

この一週間の体験で私は、たくさんの事を学ぶことができた。反省などしなければいけない点もありましたが、とても楽しく充実した毎日でした。見るもの聞くものすべてが私にとってとても貴重な経験となりました。そして、このような機会も私達に与えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。一生、忘れません!!

おにぎり大使派遣事業を

終えて

牡鹿中学校 後藤 海



今回のおにぎり大使派遣事業は僕にとつてかけがえのない思い出になりました。最初僕は他校の人と

仲良くやっていけるか不安でしたが四回の事前研修で段々緊張もほぐれていき、今では大切な友達です。

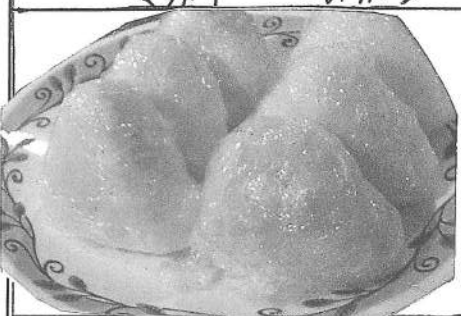
そして、オーストラリアでは日本ではできない体験を得られました。中でも一番大変だったのが英語での会話でした。でも現地の人はジェスチャーや紙に書いてくれたりなどとてもやさしい対応をしてくれてすごく助かりました。

僕は日本とは違う文化に触れることができ、本当に良かったです。外国の方々たくさん交流し、多くのことを学ぶことができました。

そして、今回の体験をこれからの勉学に繋げ、これからの人生に生かしたいと思います。

最後に貴重な体験と楽しい思い出どうもありがとうございました。

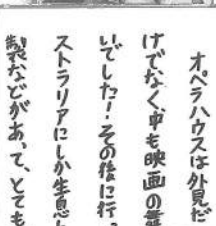
<p>ホームステイの内容</p>	<p>おにぎりの反動</p>	<p>学校の訪問</p>	<p>観光地 思い出</p>
<p>一日目 ホームステイの案内をしてもらいました。英語が聞き取れず、おにぎりの作り方を教わりました。二日目 ホームステイの朝ごはんを作りました。三日目 マガラの試合を観ました。</p>	<p>僕たちはホームステイ二日目におにぎりを作りました。おにぎりの作り方を教わりました。おにぎりの作り方を教わりました。</p>	<p>学校訪問では、おにぎりの作り方を教わりました。おにぎりの作り方を教わりました。</p>	<p>観光地では、おにぎりの作り方を教わりました。おにぎりの作り方を教わりました。</p>



福来門笑

オーストラリアへ来たよ

My Second Family
 私達がホームステイした家族は五人家族でした。ホストファミリーが自分達のしたいようにいたので、ホームステイの人が、のいでも慣れている感じがしました。一日目は夕食にホストファミリーが作ってくれたラザニアを食べました。二目は友達の家に行き、バーベキューをしました。行き先の子ともジェンガなどをして遊びました。お互いに言っていることは分からなかったけど交流できて嬉しかったです。三目は用事が帰って来てからおじぎりを作りました。三角おじぎりを作るのが難しかったけど、ジェンチャーで教えることが出来ました。味塩に馴染んでいました。夕方はマニリービーチとシエラビーチに行きました。水が透明で空気が美味しかったです。四目の朝にもおじぎりを作りました。ご飯の炊き方を紙に書いておじぎりを喜んでもらって嬉しかったです。それからおじぎりに行く、オーストラリアの自然を味わいました。また、また四日間も過ぎました。ホストファミリーは私達の第二の家族です。



オーストラリアについてまず向かったのはミセス、コリスポイント。そこはオハラハウスとハーパーズが見れるとても良い眺めの場所でした。オハラハウスは外見だけだけでなく、中も映画の舞台のようになっていました。その後に行き、博物館には、オーストラリアにしか生息していない動物のほく製などがあって、とても興味深かったです。

市内観光四日目は、シドニー動物園と水族館、シドニータワーに行きました。シドニー動物園ではオーストラリアのコアラやカンガルー



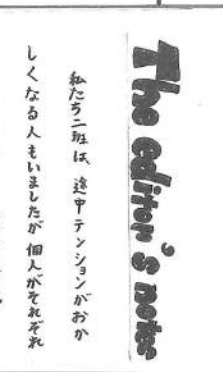
Dulwich High School
 研修三日目、シドニー市内にある、ダルウィッチハイスクールを訪問し、バディと共に学校内を見学しました。全体の空気が暖かく、ランを練習しているハイスクールの生徒も一緒に踊り盛り上がる様子が見られました。その後、四つのブースに分かれて日本文化を紹介しました。この学校訪問で私達はたくさん生徒達と短い時間でも交流することができました。ここで学んだ学校生活の姿

Sightseeing
 水族館ではオーストラリア独特の魚類がいて、とてもきれいです。

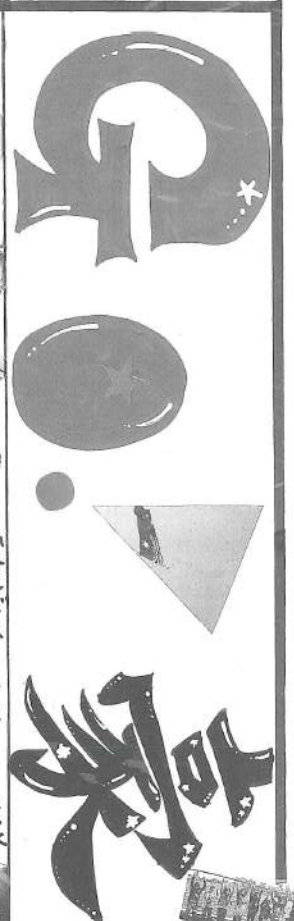


二日目の夕食、中華街の日系レストランでの出来事。バイキング形式の楽しい食事を終えてデザートを食べたところ、突然異様な罵詈雑言が私を襲った。その正体は「リコリス」*。世界一不味い、な菓子として、とても有名! そんなことを知らずに、「美味いよ」と言って斑のまんまに食べてもらい、大層な感傷を買いました。味は洗剤とミントを混ぜたような、苦いと言ふより、エグイ味でした。でも、オーストラリアで楽しい思い出の一つに存ったと思います。日本でも、大型百貨店等で売っているみたいですよ。が、お味は前述の通り、お察しください。 文責 雁部那由多

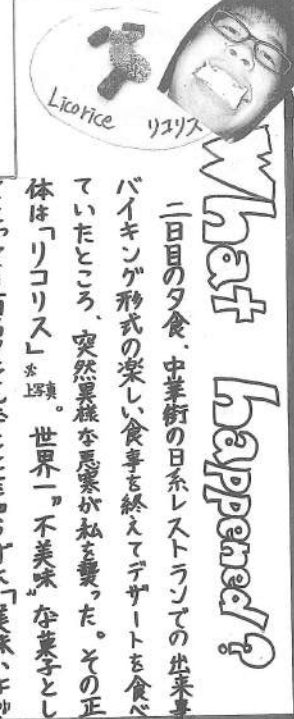
The other's note
 私たち二班は、送別パーティーが楽しくなる人もいましたが個人がそれぞれ目標を達成することができました。また、このような機会を手当てしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。 文責 千葉 侑平



What happened?
 二日目の夕食、中華街の日系レストランでの出来事。バイキング形式の楽しい食事を終えてデザートを食べたところ、突然異様な罵詈雑言が私を襲った。その正体は「リコリス」*。世界一不味い、な菓子として、とても有名! そんなことを知らずに、「美味いよ」と言って斑のまんまに食べてもらい、大層な感傷を買いました。味は洗剤とミントを混ぜたような、苦いと言ふより、エグイ味でした。でも、オーストラリアで楽しい思い出の一つに存ったと思います。日本でも、大型百貨店等で売っているみたいですよ。が、お味は前述の通り、お察しください。 文責 雁部那由多



- 2班 H26.8.17
 武田あゆみ 佐藤大斗
 雁部那由多 小島杏
 佐藤千紘 後藤海
 千葉侑平 末永礼奈
 斎藤向日葵



「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



石巻市立湊中学校

高橋 錬

スカイブルーの澄んだ空の下、深呼吸をする。どこか秋の終わりを彷彿させる、朝方の少し冷たい空気が肺に流れ込んでくる。でも、いつもと少し違う空気。その違いは言葉で描写できない。「ああ、オーストラリアに着いたのだな」と実感した瞬間。

なぜ英語を学ぶのでしょうか。「受験のため?」、「将来いい仕事に就くため?」。第一回事前研修会で、三十二名のおにぎり大使たちに投げかけました。石巻圏域の将来を担う青少年の育成を目的としたこの派遣事業。国際化と言われて久しい現代。生徒たちが世の中に羽ばたく頃には、世界が今よりもさらに身近になっていくことでしょう。単に日本文化を紹介したり、観光地で見聞を広めたりするだけではもっ

たいない。英語を教える者として、オーストラリアでの経験を通して英語を学ぶ意義について考えてもらえればと願い、この派遣事業に参加させていただきました。

学校訪問で訪れたダルウィッチハイスクール。校長先生が話したことが強く印象に残っています。「この学校には三十三の国の生徒が在籍している。

これはオーストラリアという国の縮図でもあります」。オーストラリアは移民が創り上げた国家。肌の色が違う生徒、顔の雰囲気異なる生徒と、なるほど様々な生徒たちを見かけました。街を歩いても、いろいろな国の人たちとすれ違います。訪れる先々でこの校長先生の言葉を反芻しました。

考え方や価値観が異なる人と話すことは、とても素敵なことだと思えます。そして、とても素敵なことだと思えます。ノーベル平和賞を受賞したネルソン・マンデラは、「相手が理解できる言語で話せば、それは伝わる。相手の言語で話せば、それは心に響く」という言葉を残しました。拙いながらも精一杯自分の英語でやりとりをした生徒たち。伝えたいことの細部までは伝えられな

かったかもしれませんが、伝えたい「何か」は相手の心に届き、響いたことでしょう。滞在最終日、ホストファミリーと生徒たちのやりとりを見ていてそう実感しました。ホームステイをはじめ、オーストラリアで英語を話した経験は、心に刻まれる素敵な思い出となりました。

なぜ英語を学ぶのでしょうか。初めてたずねられたときは、突飛と思えたこの質問。一回りも二回りも成長したおにぎり大使たちはどう答えるのでしょうか。「受験のためだ、将来のためだ」という考えの先にあるものがきつと見えていくはず。それはきつともどかしく、はがゆいけれど、どこか心を穏やかにさせてくれるものです。ぜひ大切にあなたのためにいってください。

末筆ながら、引率の機会を与えてくださった、石巻地区広域行政事務組合の皆様をはじめ、関係者の皆様により感謝申し上げます。そして生徒たちたった数回の研修で、テーマ設定から南中ソーランの完成と、舌を巻く団結力を見せてくれ、オーストラリアでも準備の成果を存分に発揮してくれました。私自身、何事にも素直に懸命に取

り組む姿から多くのことを学びました。ありがとうございました。



▲事後研修会（壁新聞完成記念撮影）

おにぎり大使派遣事業に

参加して

雄勝中学校 伊勢 晃斗



今回、私はおにぎり大使派遣事業でオーストラリアに一週間行ってきました。その旅はとても楽しく、

たくさんさんの貴重な体験ができました。その中でも、一番印象に残っていることはホームステイです。最初は緊張と不安でホストファミリーが何を言っているのかわかりませんでした。ホストファミリーがやさしく笑顔で「大丈夫だよ」といってくれ、さりだんだん緊張と不安が減っていききました。自分の下手な英語でも、一生懸命理解しようとしてくれたので、自分から英語で会話するようになったのがこの旅での成長だと思います。ホームステイの最後の日は私たちの任務であるおにぎりをつくり、おいしいと言っていたので本当に良かったです。おにぎり大使派遣事業を通して日本の食文化を伝えることや一生忘れなれない思い出、大切な仲間ができたからです。本当に楽しく、充実して短く感じた一週間でした。本当にありがとうございました。

おにぎり新聞

雄勝中 伊勢 晃斗
思い出
おにぎり大使派遣事業でオーストラリアのいろいろなところに行きました。ダルウイツハイスクールでは、文化交流や南中ソーランをとてもよろこんでくれてたのでよかったです。いろいろな観光地に行きました。すべての景色がきれいでびっくりしました。

ホームステイ

一日目は初めてのホームステイで緊張と不安があったが、ホストファミリーがあたたかくおかえてくれた。そのおかげで緊張と不安がなくなっていました。

二日目は時間が短かったのですが夜にテレビでオーストラリアで人気があるラグビーをみました。ホストファミリーはラグビーに詳しいのでルールなどをおしえてもらいました。

最高の思い出 in オーストラリア

三日目はホストファミリーに景色がとってもきれいなビーチに行きました。日本の海もきれいです。オーストラリアの海はゴミがぜんぜんおちてなく、とてもきれいで、午後からは、ホストファミリーの兄ローガンのサッカーの試合をみに行きました。そして、最後の日の夜には、私たちの任務であるおにぎりを作りました。ホストファミリーには、おいしいと言ってもらったので、本当に楽しかったです。三日間、楽しく充実したホームステイでした。

最後に

私はおにぎり大使派遣事業に参加してよかったと思います。一生忘れなれない思い出や大切な仲間ができたからです。本当に楽しく、充実して短く感じた一週間でした。



おにぎり大使派遣事業に

参加して

佐藤 広菜



私はおにぎり大使に決まっから、不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、事前研修を重ねるうちに不安はなくなり、海外に行くことがどんどん楽しみになっていきました。

私にとって初めての海外はとても楽しく充実した五日間でした。この経験は一生忘れないと思います。

その中で一番印象に残っているのはホームステイです。ホームステイをするまでは日本語ばかりで不安でしたが、ホストファミリーのおばあちゃんは優しく迎えてくれました。だんだん話しているうちに不安はなくなり、楽しく過ごすことが出来ました。おばあちゃんは歩くのが好きでいろんな所に連れていってもらい、嬉しかったです。最後に私達を支えてくださった先生方、家族には感謝しています。おにぎり大使派遣事業に参加する事が出来て良かったです。

おにぎり大使

in オーストラリア

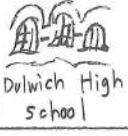
やはり冬。肌寒いかも！

ホームステイ!!

ホストファミリーはおばあちゃんのMS・JANICEです。とても元気でした。趣味がウオーキングなので、歩いてビーチに行ったりオペラハウスなどいろんな場所に連れて行ってもらいました。シャッピングもいっぱいしました。お出かけ出来て良かったです。無料のバスがあつて驚きました。May I はたくさん使っていると分かりました。おにぎり作りは、レ、かり出来ました。一緒に作れて良かったです。おにぎりを作るときは、おにぎりを作るのに驚きました。味が薄かったのか、レモンや塩、コショウを

かけていました。濃い味が好きなんだなと思いました。JANICEは、のりが嫌いでした。

学校訪問では、デイジー・アレンがバディでした。デイジーの周りははたくさんの友達がいきました。学校でおかしが配られていて驚きました。スポーツゲームをやりました。バディのデイジーは、スポーツが大好きな一人です。盛り上がり上げていました。おにぎり作りが上手な気がした(笑)



観光
少ながった(笑)
ショウワだ(笑)

文化交流も喜んでもくれました。ソラン節も上手くいぎ、楽しんでもらえて良かったです。ミートパイ、美味しかったです。博物館で外人に写真を撮って頼んだらオーケーと言ってくれました。動物園も水族館も楽しかったです。コアラとカンガルー意外に可愛かったです。



2014

みんな面白くて話やすく、とても楽しい1週間でした!! Thank you



おにぎり大使派遣事業に

参加して

蛇田中学校 仲上 佳希



オーストラリアで過ごした時間は、ひとつひとつが貴重で大切な宝物となりました。また、現地の

の生活だけでなく、事前研修の全てに学ぶことや気づくこともありました。

何より石巻地区で長く続いてきた、この事業の一員として参加できたことを誇りに思います。このような貴重な体験の機会を与えてくださった方々や、事業に携わり支えていただいた全ての方々に心から感謝しています。

出発前は、うまく会話ができるか不安でしたが、言葉は違っても世界の人々の心は通じ合えると深く感じる事ができました。また、ホームステイを通して、自分の家族の大切さを考えるきっかけをもらいました。

中学生のこの時期に経験させていただいたことを、これからの学校生活や自分の将来に生かし、石巻への恩返しをしたいと思っています。本当にありがとうございました。



ONIGIRI AMBASSADOR In Australia



Home Stay

Host Family

Father Mark

Mother Cassandra

Daughter Joshua 12才

Son Charlotte 15才



🍷 さよならパーティーのようす 🍷

- 1日目 1/4 ・ホストファミリーと対面。優しく迎えてくれた。夜はピリヤードで遊んだ。
- 2日目 2/4 ・夜の海の月夜波堤を満天の星空の下で娘と一緒に走った。
- 3日目 3/4 ・娘のネットボール大会観戦とボンダイビーチにいった。おにぎりも作った。ちょっとおはゆ固めだったけど、梅干が女子言葉だった。
- 4日目 4/4 ・さよならパーティーをした。4日間、とても親切にしてくれた。ホームステイの経験から得たものがとても多かった。

Dulwich High School

とても自由な学校で、日本の高校とは違うところがたくさんあり、文化の違いを感じた。

生徒のみなさんは、中国、フランス、イギリス、アメリカなど、世界中の国々の人達がいる。多民族国家のすばらしさを感じることができた。授業で、日本語の授業があるらしく言葉は通じた。ほじけた雰囲気でも楽しい時間を過ごした。



Sight seeing

まず、オペラハウスの外観に驚いた。市内は都会なので自然がいっぱいで、シドニーはとてもすてきな街だった。

動物園では、南半球にはしかないような動物達を見ることができた。ショッピングでは、店員さんの言葉が早くて何を言っているか、全くわからなかった。たった9時間でオーストラリアまで行くことができ、世界を身近に感じた。

感想

この7日間では、日本との違いをそれぞれの場面で、たくさん学ぶことができました。違いを味わうことで、これまで自分が無意識にやっていたことの意味を考えるきっかけになりました。またホームステイでは、ただ生活を共にするのはなく、深い意義があることも気づくことができました。この経験を蛇田中学校にも伝え、いつまでもずっと大切にしていきたいです。



おにぎり大使派遣事業に

参加して

女川中学校 三浦 祐雅



僕はこの旅が初めての海外旅行でした。たくさん不安があったけれどそれ以上に楽しみという気持ち

の方がまさっていました。家族に別れを言いバスに乗り込む時にはオーストラリアの事で頭の中はいっぱいでした。

それからの一週間はあつという間でした。たくさんの事を体験しました。

市内見学では、古い建物が残されたシドニー市内の街並に驚かされました。

ホームステイでは異文化の生活に触れさまざまな体験をすると同時に、日本の文化の素晴らしさをあらためて感じました。

そしてなにより日本語が通じない中で外国の人とコミュニケーションを図ることで自分の英語力アップにつながったと思います。

この一週間は僕を大きく成長させ、決してわすれられない思い出となりました。もう一度オーストラリアへ行きたいです。

HOME STAY

お父さんと娘さんが出迎に来てくれた。家に到着後すぐにお母さんと対面。残念ながら、自筆さんはカナダに留学中。会えなかった。

その日の夕食はハンバーガー(手作り)。お父さんが作った。牛肉をたくさん使っていておいしかった。

お父さんと娘さんが出迎に来てくれた。家に到着後すぐにお母さんと対面。残念ながら、自筆さんはカナダに留学中。会えなかった。

その日の夕食はハンバーガー(手作り)。お父さんが作った。牛肉をたくさん使っていておいしかった。

夜のウォーキングを公園、海辺を歩きました。少し遊具を遊びました。

その日の夕食はパンの中にクリームが入ったものが入っていました。

この日の夕食はピザだった。ピザのピザだった。ピザのピザだった。

娘さんの試合に行ってきた。そしてそこで息子さんと初めてあうことができた。

7
6'6"
6'
5'6"
5'
4'6"
4'
3'6"
3'

編集後記

今回のホームステイは僕たちにとってすばらしい思い出となりました。こんな体験、人生であと何回できるかなんかわかりません。なのでこの貴重な体験は僕達の将来にいかしらの影響をあたえたいと思います。

これからの人生でこの思い出は最も大切なものの一つになりました。

おにぎり大使派遣事業を

終えて

門脇中学校 日野 梨香



私は、おにぎり大使として、一週間オーストラリアで沢山の貴重な経験をしてきました。

中でも、一番印象に残っているのは学校訪問です。私のバディは、ひとつ年上のエリスという女の子でした。年はひとつしか変わらないのに、とても大人っぽくてびっくりしました。エリスとは、たくさん会話して、自分の英語も通じるんだ！と自信がきました。

また、オーストラリアの学校と、日本の学校を比べると、違うところが多くあって、自分の中の世界観が大きく変わりました。いつか海外の学校に通ってみたいという気持ちもうまれました！

この一週間で見たもの、聞いたこと、経験したこと、学んだことをこれからの人生に生かしていきたいです。そして、研修からずっと一緒に頑張ってきた仲間にくっさん感謝したいです。ありがとう！

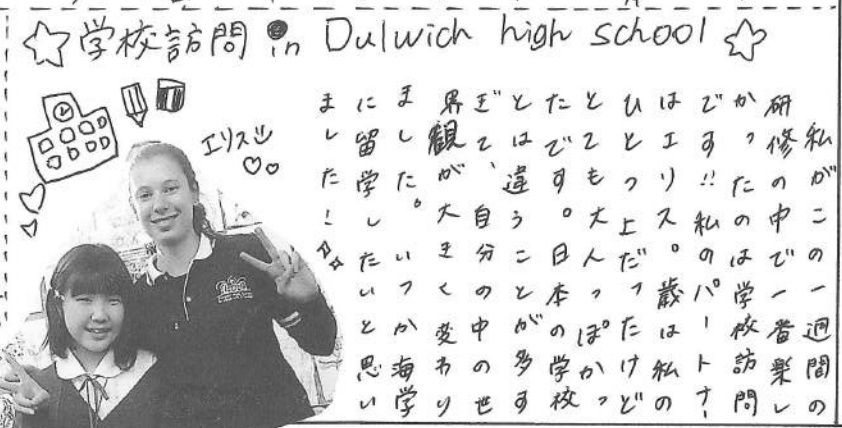
HOME STAY IN AUSTRALIA



1日目
学校訪問を終えて、いよいよホストファミリーと面会。緊張や不安がなくなり、ホストファミリーと楽しく迎えることができました。おにぎり大使としての使命があるおにぎり作りも、この日にしました。おにぎりの具が、ツチキンと美味しかったです。おにぎりを食べて、おにぎり作りを待っていました。

2日目
DVDを借りました。DVDは、おにぎり大使としての使命があるおにぎり作りも、この日にしました。おにぎりの具が、ツチキンと美味しかったです。おにぎりを食べて、おにぎり作りを待っていました。

感想
使大が、この一週間の研修の中で一番楽しかったのは、おにぎり大使としての使命があるおにぎり作りも、この日にしました。おにぎりの具が、ツチキンと美味しかったです。おにぎりを食べて、おにぎり作りを待っていました。



「おにぎり大使 派遣事業を終えて」



東松島市立鳴瀬未来中学校
坂本英子

おにぎり大使の引率者のお話をいただいたときは天にも昇るような心地で「なげなら「日本と世界の架け橋になりたい」というのが私が英語教師を志した動機で、さらに自分の留学経験を何らかの形で指導に生かしたいと考えていたからです。おにぎり大使は私にとって夢のような事業であり、これまででは点だった自分の経験と目標がおにぎり大使の引率を通して、線になると直感しました。

初めての事前研修会では、緊張した面持ちで姿勢を崩すことなく真剣に話を聞いている団員たちの姿が印象的でした。「立派だな」と感じると同時に「こんなにカチカチでオーストラリアで大丈夫かな？」と心配しましたが、研修を進めていくうちに、団員たちは

同じ目的を共有する仲間として、絆を深めながら成長していきました。その適応力と社交性そして向上心の高さには驚かされました。

そして迎えた出発当日。長距離のバス移動と十時間のフライトで相当疲れていたにもかかわらず、団員たちは弱音を吐くことなく、到着後のシドニー観光では大興奮で記念撮影していました。

ダルウィツチハイスクールではバディと一緒に行動することがほとんどでした。文化交流を終え、バディとの交流の時間。始めこそ困惑していた団員たちでしたが、引率者たちと離れ、バディとペアで過ごすうちにオージーの陽気さに感化されていきました。

そしていよいよホームステイ。ミーティングポイントでホストファミリーとともに出発する団員たちは期待と不安が入り混じった表情を浮かべていました。しかし、フェアウェルパーティーで涙を浮かべながら別れを惜しむ姿を見て、全力で頑張り、言葉を超えて心が通じたことが伺え、本当にいい時間を過ごすことができたことが伝わってきました。

今年のおにぎり大使のテーマは『今の自分から一歩前へ』おにぎり大使よ

大志を抱け』でした。団員たちは研修や派遣中の活動に真剣に取り組み、日々自分を成長させていたように感じます。文字通り、今の自分から一歩前へと毎回進んでいたように感じました。団員たちは日本以外の文化に触れることで視野を広げ、自分のもつ力に自信をもち、自分の将来に向けて力強く歩を進めていくことと思います。また、

四回の事前研修とオーストラリアでの一週間という短い期間で、団員三十二人はまるで一年をともした仲間のようになり、互いに支えあい、助け合い、信頼し合うことができました。おにぎり大使を通して、生涯の友とも言えるような仲間に出会えたことが何よりの財産だと思えます。出会いは必然、だからこそこのメンバーで最高の経験ができたことをうれしく感じています。

最後に、今回このような素晴らしい事業に参加する機会を与えてくださった石巻地区広域行政事務組合の皆様をはじめ、関係する皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



▲事後研修会（壁新聞完成記念撮影）

おにぎり大使派遣事業に

参加して

矢本第二中学校 石川久瑠未



今回、おにぎり大使としてオーストラリアで過ごした日々は、私にとってとても良い体験になりました。

私は個人目標を「多くの人とコミュニケーションをとる」に決めました。しかし、実際に現地に行ってみると英語を聞き取るのがやっとなので、自分から話しかけることが出来ませんでした。ホームステイ先では、最初の方は緊張していたので、ホストが話しかけてくれたるのに、あまり話せませんでした。でも、一日目の夜には少しずつコミュニケーションをとれるようになりました。最終日には自分から進んで話しかけることができました。

このおにぎり大使派遣事業に参加して学んだことはとても良い刺激になりました。自分の視野が広がり、これからの生活や将来に生かしていけるのではないかと思えます。もし外国人の方と交流する機会があったら今度は自分から話しかけたいです。

The Australian

ホームステイ

一日目はホストファミリーと対面しました。初めは緊張していましたが、緊張していませんでした。たまたま打ち解けました。夜にはお互いに自分達が住んでいる町のことについて話しました。娘のマネージャーさんは、すしとテ

リヤキッチンが好きで私と好みが似ていました。二日目はハグニンがあまり少し大変な感じが、デイナーのお友達が来たりと楽しかったです。

三日目はビーチヤ



父: Graham 母: Donna
娘: Manager 息子: James

ショッピングに連れていってもらうことができました。景色がすばらしく感動しました。夜にはおにぎりを作りました。おいしかったです。喜んでくれてうれしかったです。

四日目はシドニーの町を一望できると、おきの場所に連れていって、もういままてい、とてもきれいな町です。さよならパーティーをしました。寂しくなりました。

この四日間はとても充実したすばらしい日々でした。

市内見学

団員みんなが楽しかったです。動物園では、コアラとカンガルーがかわいかったです。博物館がオシャレで景色もきれいで驚きました。いろいろな所に行き、日本との違いを感じました。

学校訪問

私のバディは、ケアリーという女の子でした。元気で優しい人でした。たくさん話しかけてくれた。仲良くなれました。文化交流では、みんなが踊った。南中ソーランが成功して良かったです。着付け体験をしました。着付けをやるのに時間がかかりました。着付けが、多岐の方が、嬉しい。ありがとうございます。

感想

私はこのおにぎり大使派遣事業に参加することができて本当に良かったです。今回体験した全てのことが自分を成長させてくれると思います。一生忘れられない思い出です。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

河南西中学校 土井 真人



おにぎり大使として、オーストラリアで過ごした五日間は、とても充実した素晴らしいものでした。

その中でも特に印象に残っているのはホームステイです。

初めは、上手くコミュニケーションがとれるかどうか不安でしたが、そんな不安もなくなるほど、ホストファミリーは私たちをあたたく迎えてくれました。ホームステイの間、ホストファミリーの話している内容を理解できたこと、私が話した事が通じた事がとても嬉しかったです。

この事業は、七日間という短い間でしたが、人生の中でとても大切なことを学べたと思います。そして、これらの経験し学んだことをこれからの人生に生かしていきたいと思えます。最後に、このような機会を与えてくれた多くの人たちに感謝しています。本当にありがとうございました。

I  AUSTRALIA 

ホームステイ一日目、ホストファミリーはあたたかく僕たちを迎えてくれた。その日の夕食は、ピザパーティー。辛いや物が好きなのがアザニア。パーベツパーをかけていたのは、とてもおどろいた。一日目は、緊張から開放され、ぐっすり眠れた。

新聞
ホームステイ
一日目



インドア(双子)から左、アザニア(双子)、フランク(父)、パーティの写真、エステル(長女)、ピガ。

二日目
ホームステイ二日目。昼の市内観光を終えて、家に帰るとマザーが仕事で遅いため、アザニアが夕食を作ってくれた。

アザニアとファミリーには、あまり話さなかつた。から、たくさん話すと、かきこも、うれしかった。

三日目
ホームステイ三日目。インディとアザニアのバースデイ。パーティーだった。たくさんの人に来て、僕たちがおにぎりを作った。お祝いを、みんなおいしく言ってくれてうれしかった。

四日目
ホームステイ四日目。午前はショッピングに、午後にはカルピス、イチに行つた。とても青くきれいな海だった。そして、お別れの時。とても悲しかった。また戻って来たいと思つた。

編集後記
この七日間は、言葉では表せないほどの素晴らしいものでした。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

桃生中学校 佐々木 一成



僕がこのおにぎり大使派遣事業に参加して良かったことが二つあります。

一つ目は、自分の英語力が向上したことです。学校訪問でバディと一対一で話したり、ホストファミリーの皆さんと話して、外国の方の言っている内容が大体分かってきました。そこで話す力はもちろん、リスニング力が向上しました。これは、受験や今後の英語学習に生かしていきたいです。

二つ目は、日本とオーストラリアの文化に触れることが出来たことです。オーストラリアは、季節が逆でとても過ごしやすかったです。さらに日本の文化であり、僕たちの使命であるおにぎりを広めることが出来ました。ホストファミリーの方々には美味しいと言ってもらえうれしかったです。この出会いは生涯忘れないと思います。この事業で得た経験を色々な面で生かしていきたいです。そして、この事業に参加させていただいた先生方、両親に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

THE BEST HOME STAY In Australia

シドニー新聞

中本 成
桃生 佐

一日目とホストファミリーと対面

オーストラリアのシドニーへ着き、日本とは違う気候や空気に肌で触れ、観光もし、ガールウィッチハイスクールの文化交流などもしました。その後ホストファミリーと対面をしました。家に着くとまず靴を履いたまま家の中に入ることに驚きました。ホストファミリーの紹介を受け、お父さんはフランク、幸いのが大好き、母さんはボバ、日本語をちょっと知っている。長女エステレ、メインクラフト大好き。次女は双子インディアナとアザニアに可愛いわ！一日目は緊張しながらも会話が出来て、楽しかったです。



二日目とプラザ

二日目は、国買と市街地観光でした。父さんと母さんが仕事に行く関係でアンデイが集合場所へ送って行ってくれました。観光も楽しかったです。帰りの飛行機も楽しかったです。アンデイに送ってもらいました。家に帰ってプレゼント交換をしました。僕は扇子と折り紙と付箋をプレゼントしました。喜んでくれました。喜んでくれました。この日は、双子の誕生日でした。祝いを盛大におくりました。お名前が集まりました。おにぎりを振る舞いました。みんな美味しく食べて嬉しかったです。

三日目

ついに、最後の日になりました。三日目は、買い物に行き、その後、ビーチへ行きました。海が綺麗でした。そして夜は、おにぎりパーティーをしました。寂しい気持ちになりました。良かったです。

編集後記

僕は、このホームステイを通して文化のことがやることが多く触れることが出来ました。この研修を研修だけにせず、将来に繋げた方がいいです。そしてこの研修に携わった方々に感謝したいと思います。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

稲井中学校 阿部 桃佳



私は、オーストラリアでの活動や事前研修会などすべてがとても良い思い出になりました。

その中でも印象に残っていることは、ホームステイです。海外もホームステイも初めてで少し緊張していましたが、ホストファミリーのみなさんがとても優しくしてくださったので、緊張がほぐれました。特におにぎりを作った時は、一緒に楽しみながら作る事ができ、すごく嬉しかったです。また、初めの頃は、あまり何を言っているのか分からなかったけれど、たくさん会話をすることによって、だんだん聞きとれるようになりました。

今回おにぎり大使派遣事業に参加して、自分の目標をきちんと達成できたと思います。また、たくさん良い経験ができました。それは、私を選んでくれた学校の先生、引率の先生方、事務局のみなさん、旅行会社の方々のおかげです。本当にありがとうございました。

HOME STAY

★一日目!!

海外も初!!
ホームステイも
初!! すごく
緊張していた。
かたかた優しく
あたたかく優し
かったです!!

★二日目!!

夕飯にBBQ!!
お庭が焼いて、
ハンバーガーも
おいしかった♡

★三日目!!

一緒におにぎり
を作った!!
おにぎりも作っ
た!! 少し苦手
はあったけれど、
大成功!!

★四日目

最後の日!!
お散歩
や海に連れた
おにぎりも
おいしかった!!

DULWICH HIGH SCHOOL

family



バディはマ
グといっ
歳上だった。
色んなこと
を教わって
くれた。優
しくおしゃ
べりしてく
れた。友だ
ちの声を
聞かなくて
はならない
と思った。

Sight seeing

感想

三ツドニ市
色んな光景
オヤウハス
博物館、水
動物園など
たくさん施設
が揃っている
のけしきも
外国っぽく
感じました。
キレイな
景色を見
られたこと

初海外で、
緊張して
英語は上
手になり
ました。英
語は話せ
ないから
コミュニケーション
がとりに
くさった
けど、今
自分が
経験した
ことを
発信し
たいです。

おにぎり大使派遣事業に

参加して

山下中学校 今野舞名美



このおにぎり大使に参加できて本当に良かったと私は今思っています。

最初の研修会、周りがとても優秀で自分が一人だけとても浮いているように感じました。でもみんな優しく、本当に楽しく研修ができました。

また、私は四班の班長として活動させてもらいました。四班は個性が強くて、でもまとまりがあつて最高の班でした。現地での観光はほとんど八人のメンバーと一緒にでしたが、誰かが困っていたら、誰かが助けるというように、なれない土地での研修を力を合わせて全力で楽しむことができました。

私は、この研修で語学力向上はもちろんのこと、仲間の大切さをあらためて実感することができました。

この研修に関わっていただいたすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

シドニー
たより

Home Stay

私がホームステイさせてもらった家はプールもあるとても大きな家で、初日、とても緊張していましたが、笑顔で迎えてくれたのでうれしかったです。毎日いろいろなことをやらせてもらって、とても楽しかったです。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。

- お父さん、お母さん、お姉さん、お妹さん、お弟さん、お祖母さん、お祖父さん
- 一緒に遊んでくれて、とても楽しかったです。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。
- お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。



Dulwich High school

編集後記

この研修に参加して、とても楽しかったです。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。お料理が上手で、お料理と一緒に遊ぶこともありました。



おにぎり大使派遣事業

女川中学校 木村明日香



私は、この「おにぎり大使派遣事業」のおかげで成長することができたと思います。

特に、ホームステイでは、人と関わるということを学びました。日本とオーストラリアの文化の違いにふれ、人の気持ちを考へて行動することを心がけました。その心がけのおかげで、楽しく話したり、食事したりたくさん関わることができました。

それに、オーストラリアの人たちと話すことで、英語力やコミュニケーション力が向上しました。英語力は、ホームステイをしている日常会話の中で、少しずつ向上しました。これは、日本では絶対にできなかったことだと思えます。

こんな貴重な体験ができたのは、事務組合の方々や、先生方、家族などたくさんの方のおかげだと思います。本当にありがとうございます。

オーストラリア

新聞

女川中学校 木村明日香

学校訪問

へお別れの時

一日目

ホームステイの日は、ホストファミリーとの対面式からはじまり、お腹いっぱい食べた。私のところは、ホストマザーが迎えに来てくれた。とても緊張しながら自己紹介をした。その後、部屋に案内され、荷物をおき、おじいさんとおばあさんとお話しました。おじいさんとおばあさんがよく、うまきを取ることができました。おじいさんは、まだ慣れず、とても大変でした。

HOME STAY

二日目

夜ごはんは、BBQをしました。お肉がおいしく、英語も少しづつ聞き取れるようになりました。

三、四日目

三、四日目は終日ホームステイでした。ビービーやミックスに連れて行きました。おじいさんとおばあさんと一緒に、お話をしました。おじいさんは、とても優しく、お話を聞かせてくれました。おじいさんとおばあさんが、とても優しく、お話を聞かせてくれました。

私のバディは、十五さいの女の子でした。とても優しく、お話を聞かせてくれました。お別れの時は、とても悲しく、かえりたくありません。

おにぎり作り

三日目に、おにぎりを作りました。おにぎりを作るのは、とても簡単です。おにぎりを作るのは、とても簡単です。おにぎりを作るのは、とても簡単です。

お別れの時、おじいさんとおばあさんが、泣きながら、ハグしてくれました。お別れの時、おじいさんとおばあさんが、泣きながら、ハグしてくれました。お別れの時、おじいさんとおばあさんが、泣きながら、ハグしてくれました。



「おにぎり大使派遣事業 に参加して」



石巻地区広域行政事務組合
日野 雅史

平成二十六年六月十五日、結団式を皮切りに今年度のおにぎり大使派遣事業がスタートしました。

おにぎり大使派遣事業は、石巻圏域の将来を担う青少年を海外に派遣し、学校訪問やホームステイを通して国際交流を図るとともに、国際化に対応できる人材育成を目的としているほか、石巻圏域の特産品である米と海苔を食料として、日本の食文化の一つである「おにぎり」を海外に紹介することも一つの大きな目的としています。

今年のおにぎり大使派遣団は、石巻管内の各中学校から三十二名の生徒と四名の引率教諭、二名の事務局員の計三十八名の派遣団となりました。

結団式後の第一回事前研修会では、各校からの代表ということもあり、団員それぞれが知らない者同士の中、これから始まる事前研修や、現地研修への期待と不安を感じていたと思います。

しかし、学校訪問時の文化交流の内容検討やオーストラリアの文化・習慣等事前学習、英語研修、おにぎりをホームステイ先で紹介するための炊飯実習等の全四回的事前研修会を、団員同士協力しながら行っていく中で、徐々に心の距離を縮め、それぞれが「おにぎり大使派遣団」としての自覚と仲間意識を高めていくのを感じました。

七月二十九日、いよいよシドニーへ向けて出発する日となり、広域クリンセンターからバスで成田空港へ、その後カンタス航空機で約九時間の長旅ののち、研修地であるオーストラリアシドニーへと到着しました。

シドニー市内見学では、ミセスマツコリーズポイント、聖メアリーズ大聖堂、オーストラリア博物館といった、オーストラリアの自然や歴史を身近に感じられる場所を巡り、ガイドによる各所での説明には皆一心に聞き入り、オーストラリアという国をしつかりと肌で感じとっている様子が伺えました。二日目の学校訪問では、まず学校訪問中のパートナーとなるバディとの対面、その後行われた文化交流やスポーツ交流を通し、積極的に英語を話して交流を図る団員達の順応性の高さには驚かされました。その日の夕方にはホームステイ先のホストファミリーと対面し、団員達はそれぞれのホームステ

イ先に出発していきましました。

翌日は一度ホームステイ先から集まり、一日市内見学を行い、シドニー・シー・ライフ水族館、ワイルド・ライフ動物園、シドニータワーを巡り、午後からはシドニー市内でショッピングを体験し、夕方には再度ホームステイ先に戻っていきましました。市内観光の移動中、団員達は一晚ホームステイ先で過ごして体験したことや感じた疑問をお互いに報告・相談し合い、残りのホームステイを充実したものにしようにしている姿がとて印象的でした。

ホームステイ最終日の夕方に行われた「さよならパーティー」の会場に集まって来た団員達の、ホストファミリーと本家の家族のように会話する姿や、ホームステイ先の子供達と兄弟のように楽しそうにふれあう姿からは、それぞれがしっかりと交流を深め、本当に充実したホームステイを体験できたことが伝わってきました。

また、「おにぎり大使」の使命でもあるおにぎり作りも、練習の成果もあって概ね成功した様子で、異国の地でのホームステイは団員一人ひとりにとって忘れられない貴重な体験になったようです。

一週間の研修旅行は、これから歩んでいく人生の長さからすれば、ほんのわずかな時間でしかありませんが、十

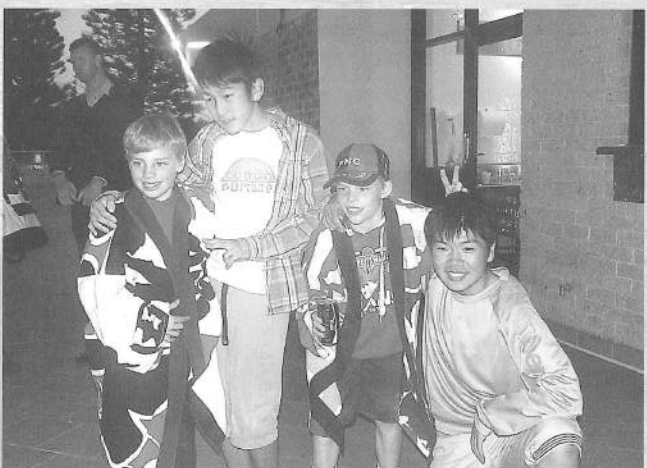
代という若さで味わったこの貴重な体験は、団員一人ひとりのこれからの人生にとっては大変意義深いものになるのではないかと思います。この経験を生かし、石巻圏域のさらなる発展にご活躍されるものと期待します。

最後に、この事業の実施にあたり、御支援と御協力をいただいた皆様へ深く感謝を申し上げます。



▲学校訪問の様子

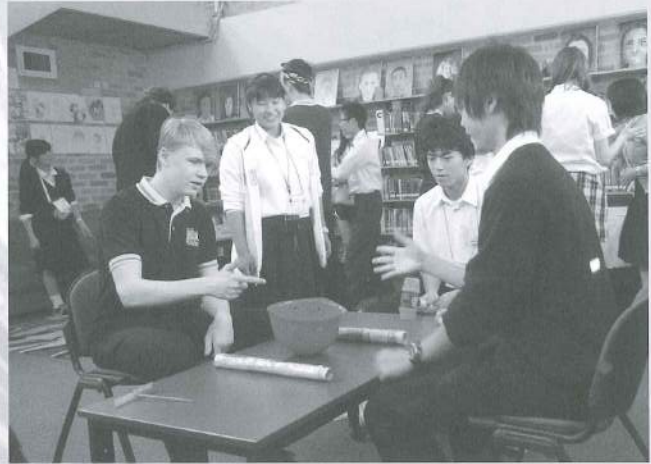
市内見学・ ホームステイ風景





Dulwich High School
of Visual Arts & Design

学校訪問



《研修日記》

事前研修について

石巻地区二十四校三十二名の中学生が、海外派遣事業を通して、自国の文化や伝統の紹介と外国の文化や生活習慣などを学び、体験することによって、国際交流を図るとともに、国際化に対応できる人材育成という目的を達成するために四回の事前研修を重ねてきました。

自分はオーストラリアでどんなことができるのだろうか。日本人として日本の文化を、そして一人の人間として何を伝えることができるのだろうか。そんなことを毎回の研修の中で考えてきました。

テーマ作りに始まり、約束事やマナー集、情報資料作りもスムーズに行われました。また、文化交流のための各班の活動、ホストファミリーに食していたくためのおにぎり作り研修、全体発表の「南中ソーラン」の練習、より実践的な英語研修など、三十二名の仲間とお互いにアドバイスし合いながら作り上げてきました。現地でも大いに生かされたし、今となっては大きな財産となり団員の心に刻まれていることでしょう。

(浅野芳博)

シドニー近郊見学

シドニー到着後、まず初めに「ミセスマッコリーズポイント」でシドニーの歴史に触れ、その後「聖メアリー大聖堂」では、ひととき美しく

威厳のある外観と、一面ステンドグラスという内部の荘厳さに感銘を受けました。次は徒歩で「オーストラリア博物館」に向かい、その後は昼食をはさんで「ハーバーブリッジ」、「オペラハウス」を訪問、オーストラリアの歴史や文化に直に触れることで、団員達は刺激を受けていました。

二日目の市内見学では、「シドニー・シー・ライフ水族館」「ワイルドライフ動物園」を訪問、日本では見られないような生物達を間近に見学し、その後は「シドニータワー」へ移動、その日は天候にも恵まれ、地上309メートルの高さから見るシドニーの街並みの美しさや自然の壮大さは圧巻でした。

市内見学を通して、団員達は初めての異文化から様々な体験をし、生涯忘れられない体験となったと思います。

(日野雅史)

学校訪問【全般】

現地滞在二日目に、ダルウィッチ美術高校を訪問しました。

「バディ」と呼ばれる一日一緒に過ごすパートナーとの対面時には、笑顔で握手に応じる生徒、緊張した表情で距離を保ったまま座席に着く生徒など、様々でした。

文化紹介の全体演目として披露したソーラン節は好評で、現地の生徒はスマートフォンで曲を探し始めるほど興味をもっていったようでした。授業体験では、美術の授業でアボ

リジニーアートの絵葉書づくりを、体育の授業では数種類の球技を組み合わせたユニークなゲームを行いました。

昼休みは、それぞれバディと学校生活の違いなどについて話して過ごしたようです。午後には、四つの分野に分かれて日本文化紹介を行い、最後には打ち解けた表情で別れを惜しみました。

学校訪問を通して、日本とオーストラリアの学校の文化的な違いを実際に見ることができました。また、帰り道では生徒たちがバディと過ごした時間についていきいきと話しており、大変充実した研修となりました。

(武田あゆみ)

学校訪問【文化交流】

文化交流は日本の文化を紹介し、現地の学生（バディ）とともにその活動をするという交流で、四つのグループに分かれて活動しました。

具体的には①書道体験②日本の歌や浴衣の着付け③あやとりや『たたいてかぶってじゃんけんポン』や竹とんぼなどの遊び④南中ソーランや風船パレーの体験をしました。

今年バディが四つのグループに分かれて、それぞれの活動を10分ずつ体験して回るという形式での交流でした。約一時間の交流で、初めは準備してきた原稿を読むだけだった団員が、四回目には原稿を見ずに説明や会話をするようになりました。

この活動を通して、団員たちは正しい英語にとらわれず、単語やジェスチャーを駆使して思いや情報を伝えることの大切さを身をもって感じられたと思います。

バディから歓喜の声があがったり、日本の歌の歌詞カードを日本語の授業で活用してもらったことになったりと、双方にとつて、とても価値のある経験になりました。

(坂本英子)

ホームステイを終えて

滞在二日目の夕方からホームステイは始まりました。学校訪問で少しづつ英語を話すことに慣れてきたからか、和やかな雰囲気でもホームステイをむかえようとしていました。

しかし、集合場所に近づくにつれ緊張で徐々に顔がこわばっていきます。その緊張を破ってくれたのがホストファミリーたちの優しげであたたかな出迎え。団員たちの不安もすつと消えていったように思います。

ホームステイ先では、おにぎり大使の使命である「おにぎりづくり」を全員が成功させました。事前研修の成果あつて、「美味しい」と言っていた、できたそうです。

ホームステイが終わった最終日。空港に向かうバスの中。さぞやぐったり疲れていることと思いきや、目を輝かせながら、おにぎりづくり等、ホームステイの思い出を語り合う生徒たち。緊張と不安でいっぱいだったあの生徒たちはどこへやら。

オーストラリアの広大な大地で、一生忘れることのない素敵な経験を積んだことでしょう。

(高橋 練)

《研修のまとめ》

今年度のおにぎり大使派遣事業は、六月十五日の結団式を始まりに、四回の事前研修を経て、七日間のオーストラリア派遣事業を実施し、その成果をまとめ八月十七日の解団式で二か月余りの研修に幕を閉じた。

おにぎり大使の団員となった生徒たちは、研修での役割に自ら手を挙げ、当初から積極的に発言し、目標や約束事項をまとめた。団員の姿からは、より良い派遣事業を自分たちの手で創りあげようとする意欲と自立心が感じられた。

このことは、引率の先生方が、団員の自主性を損なうことなく、必要な場面で適切な指導をしてくれた成果であると感謝したい。

現地では、自ら決めた目標やルールに沿って行動し、学校訪問やホームステイを終えた時には、団員の顔が輝き、頼もしくも見えた。異なる文化や人との出会い、交流は、人格を大きく成長させるものだということに身に染みて感じさせる研修だった。

(団長 沼倉隆樹)

平成 26 年度おにぎり大使派遣事業参加者名簿

○ 団 員

番号	学 校 名	学 年	氏 名	班	感想文 ページ	備 考
1	石巻市立石巻中学校	3年	後藤 雅陽	1	P 6	実行委員長
2	石巻市立石巻中学校	3年	佐藤 千紘	2	P 16	
3	石巻市立住吉中学校	3年	熊倉 和希	1	P 10	副実行委員長
4	石巻市立住吉中学校	3年	遠藤 彩恵	3	P 28	
5	石巻市立門脇中学校	3年	日野 梨香	3	P 32	実行委員
6	石巻市立湊中学校	3年	加美山美怜	4	P 36	実行委員
7	石巻市立蛇田中学校	3年	仲上 佳希	3	P 30	
8	石巻市立蛇田中学校	3年	斎藤向日葵	2	P 20	
9	石巻市立荻浜中学校	3年	末永 礼奈	2	P 21	
10	石巻市立渡波中学校	3年	内海佳奈子	3	P 33	
11	石巻市立稲井中学校	3年	阿部 桃佳	4	P 41	
12	石巻市立山下中学校	3年	佐藤 大斗	2	P 18	実行委員
13	石巻市立山下中学校	3年	今野舞名美	4	P 42	実行委員
14	石巻市立青葉中学校	3年	佐藤 雅也	1	P 7	
15	石巻市立万石浦中学校	3年	川畑 智尋	4	P 39	
16	石巻市立飯野川中学校	3年	佐藤 広菜	3	P 29	
17	石巻市立河北中学校	3年	千葉 脩平	2	P 19	
18	石巻市立雄勝中学校	3年	伊勢 晃斗	3	P 26	
19	石巻市立大須中学校	3年	永沼 琢	1	P 11	
20	石巻市立河南東中学校	3年	村上 未夢	1	P 8	
21	石巻市立河南西中学校	3年	土井 真人	4	P 38	
22	石巻市立桃生中学校	3年	佐々木一成	4	P 40	
23	石巻市立北上中学校	3年	武山 叶茄	1	P 12	
24	石巻市立牡鹿中学校	2年	後藤 海	2	P 22	
25	東松島市立矢本第一中学校	3年	奥田 優人	3	P 27	
26	東松島市立矢本第一中学校	3年	土井さやか	1	P 13	
27	東松島市立矢本第二中学校	3年	雁部那由多	2	P 23	実行委員
28	東松島市立矢本第二中学校	3年	石川久瑠未	4	P 37	
29	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	京野 彩華	1	P 9	
30	東松島市立鳴瀬未来中学校	3年	小山 杏	2	P 17	
31	女川町立女川中学校	3年	三浦 祐雅	3	P 31	実行委員
32	女川町立女川中学校	3年	木村明日香	4	P 43	

○ 引 率 者

番号	所 属	職 名	氏 名	班	感想文 ページ	備 考
1	石巻地区広域行政事務組合	事務局長	沼倉 隆樹	—	P 4	団 長
2	石巻市立蛇田中学校	教 諭	浅野 芳博	1	P 5	
3	石巻市立飯野川中学校	教 諭	武田あゆみ	2	P 15	
4	石巻市立湊中学校	教 諭	高橋 錬	3	P 25	
5	東松島市立鳴瀬未来中学校	教 諭	坂本 英子	4	P 35	
6	石巻地区広域行政事務組合	主任主事	日野 雅史	—	P 45	事務局員

